

PARAGUAY

**パラグアイの最近の経済情勢について
～経済成長をつづけるパラグアイにおける投資優位性～**





PARAGUAY



- **パラグアイは南米大陸の中心**に位置しておりブラジル, アルゼンチン及びボリビアと国境を接している。
- パラグアイは**総人口2.9億人市場のメルコスール**(南米南部共同市場)の加盟国
- メルコスール域内GDP合計 **約3.4兆米ドル**





パラグアイ経済概要



1 パラグアイの概況

- 面積 : 40万6,752km²(日本の約1.1倍)
- 人口*1 : 約705万人
- 主要産業 : 農業(大豆), 牧畜業(牛肉), 林業
GDP構成比 (農業8%, 牧畜業 2%, 林業1%
工業34%
商業11%, その他サービス36%)

2 主要経済指数

- GDP: 351億5,703万米ドル
- 一人あたりGNI: 5,470米ドル (2017年 世銀)
- 経済成長率 : **過去5年間の平均経済成長率は4.3%**
- 物価上昇率 : 3.2%
- 為替レート : 2004年以降, 対ドル・グアラニー相場は概ね安定
- 失業率*1 : 5.3%

3 貿易統計

- 総貿易額 輸出: 90.4億米ドル 輸入: 124.3億米ドル
- 主要貿易品目 輸出: 大豆(種子, 油, 粉), 電力, 牛肉 (**大豆40%, 電力23%, 牛肉13%**)
輸入: 機械, 原油・燃料, 自動車
- 主要貿易相手国
輸入: 中国, ブラジル, アルゼンチン, 米国, 日本
輸出: ブラジル, アルゼンチン, ロシア, チリ……日本

【対日貿易】

- 対日貿易総額*2 輸出: 65.7億円 輸入: 96.2億円
- 主要対日貿易品目*2 輸出: 大豆油かす(飼料用), ゴマ (**大豆油かす72%, ゴマ24%**)
輸入: 電気機器, 新車自動車, 中古自動車 (**電気機器23%, 新車16%, 中古車10%**)



日本とパラグアイの二国間関係



外交樹立100周年

直接投資

- ・製造業(自動車部品)
- ・商社
- ・造船

経済開発協力

- ・円借款(1959年～)
- ・無償資金協力(1977年～)
- ・技術協力(1979年～)

優れた日系社会の存在

- ・パラグアイの発展に貢献(特に農業分野)
- ・経済分野(商業・金融等)における日系人の活躍

1936

1959

1981

2019



1. 日系社会の確固たる地位



- 農業全般(大豆, 小麦, 果樹の普及)
- 移住者の勤勉さと農業開発における貢献は、パラグアイ国民に高く評価



ピラポ移住地



1. 日系社会の確固たる地位



● 商業・金融・保険・法曹・医療等の経済分野における日系人の活躍

- ①自動車販売 ②損保・銀行 ③養鶏・牧畜 ④食品・加工販売 ⑤小売・流通





1. 日系社会の確固たる地位



● 日本語学校

- ・各地日本人会が運営する日本語学校
- ・パラグアイ国内に9校
- ・在校児童・生徒：800名以上（含，非日系人）
- ・高レベルの日本語教育を実施



- ①チャベス中央日本語学校
- ②イグアス日本語学校
- ③アマンバイ日本語学校
- ④エステ日本語学校
- ⑤ラ・コルメナ日本語学校
- ⑥ラ・パス日本語学校
- ⑦ピラポ日本語学校
- ⑧アスンシオン日本語学校
- ⑨エンカルナシオン日本語学校
- ⑩



1. 日系社会の確固たる地位



● 良好な子女教育環境（日本語での教育）

- ・アスンシオン日本人学校（小学校，中学校：全日制）
（日本から派遣の先生：6名，現地採用の先生：3名）
- ・現地校：
 - 三育学院（日本語での幼児教育あり）
 - 日パラグアイ学院（日本語での幼児教育あり）





2. 質の高い経済協力の蓄積



● 質の高い経済協力の蓄積が、日本政府・日本人・日本企業の印象を良くし、パラグアイへの企業進出を円滑にしている。



2 質の高い経済協力の蓄積



1 日本の援助実績(2015年度までの累計)

- (1) 有償資金協力 1,561.57億円 ※印, 越に次いで世界で三番目に供与
- (2) 無償資金協力 362.12億円
- (3) 技術協力実績 880.01億円 ※研修員受入: 4,178人 専門家派遣: 1,917人 青年海外協力隊員: 1,716人

2 主要援助国(2015年DAC諸国二国間援助)

- (1) 日本(18.78百万ドル) (2) 米国(17.01百万ドル) (3) 韓国(11.54百万ドル)



3. 安定した政治・社会情勢



- 1993年の民政移管後，民主的選挙によって選ばれた政権が任期を満了。唯一例外のルゴ大統領弾劾も法に則って実施された。
- 2013年に発足したカルテス政権以降，安定した政治状況の維持と開放経済に向けた経済政策を推進している。
- パラグアイでは，近隣諸国において頻繁に発生している労働争議（賃上げ交渉・ストライキ等）が皆無に近い。

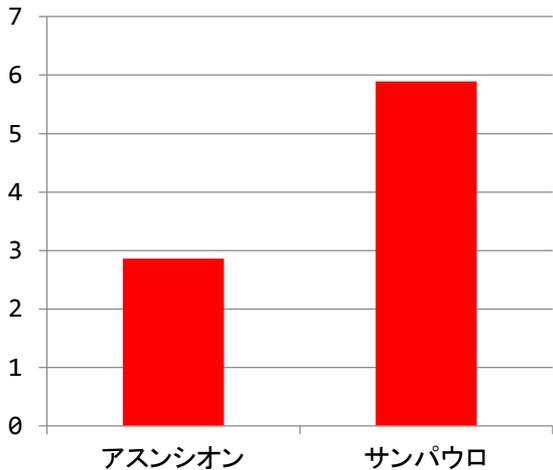


4. 周辺国と比較した治安の良さ

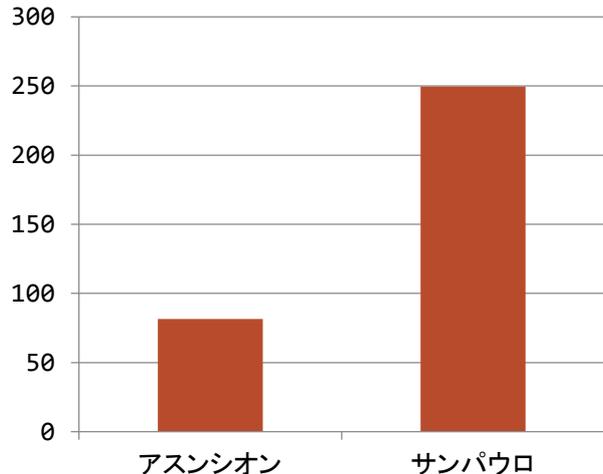


脅威が比較的少ない
⇒体感治安が良い！
(安心感がある)

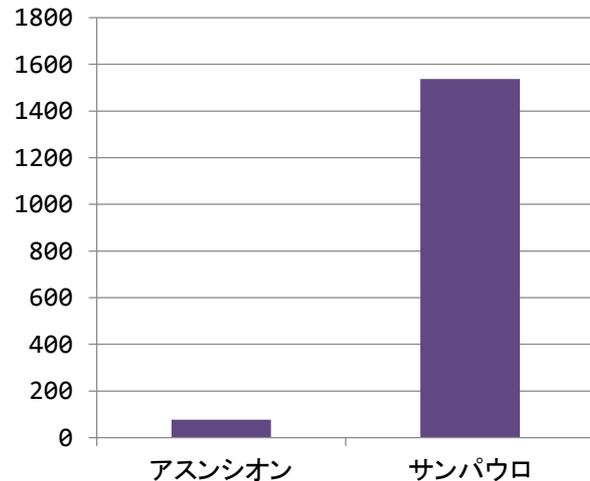
殺人



傷害



強盗

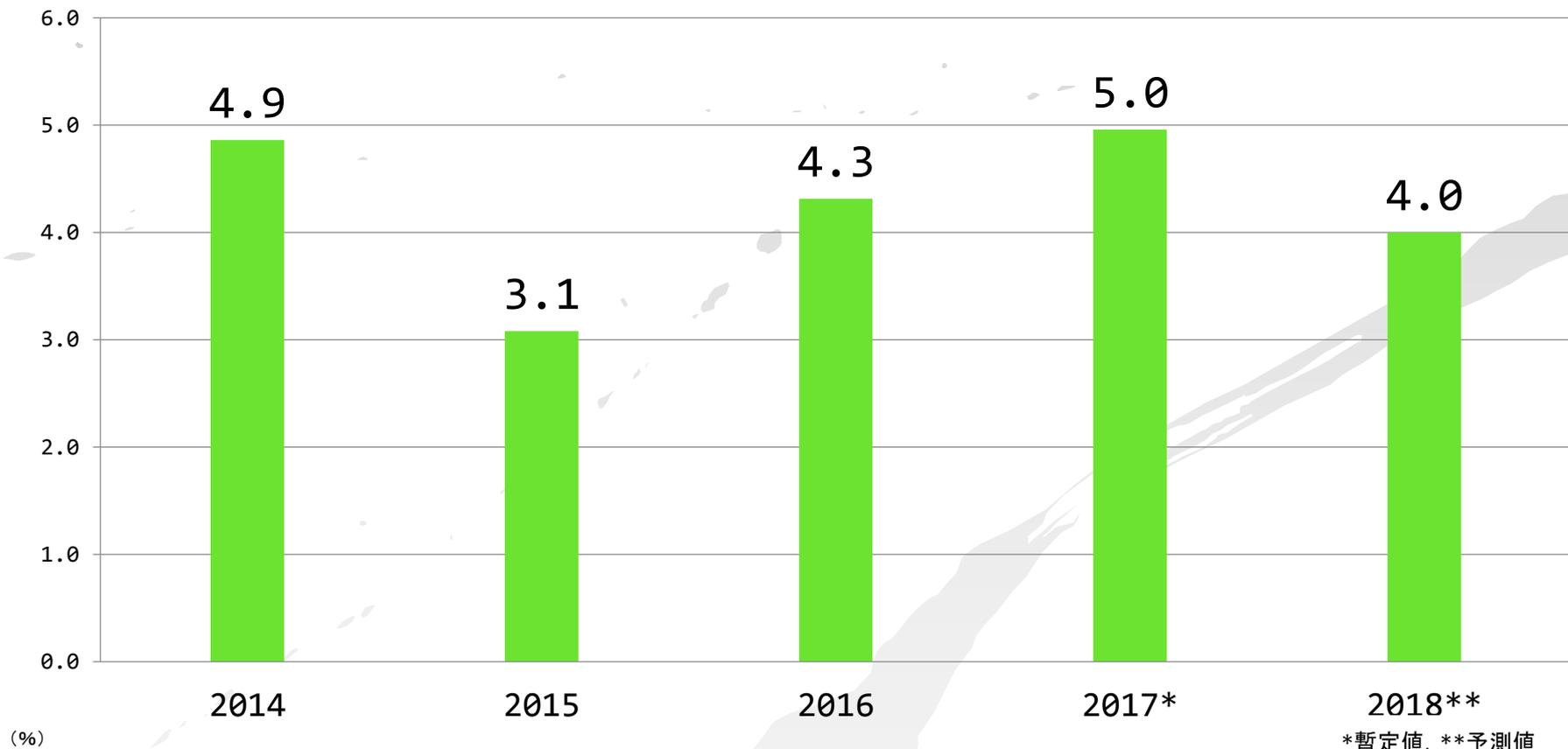


(2017年)
(10万人あたりの件数)

在サンパウロ日本国総領事館及びパラグアイ内務省のデータに基づき作成



5. マクロ経済の安定性(経済成長率)



*暫定値, **予測値

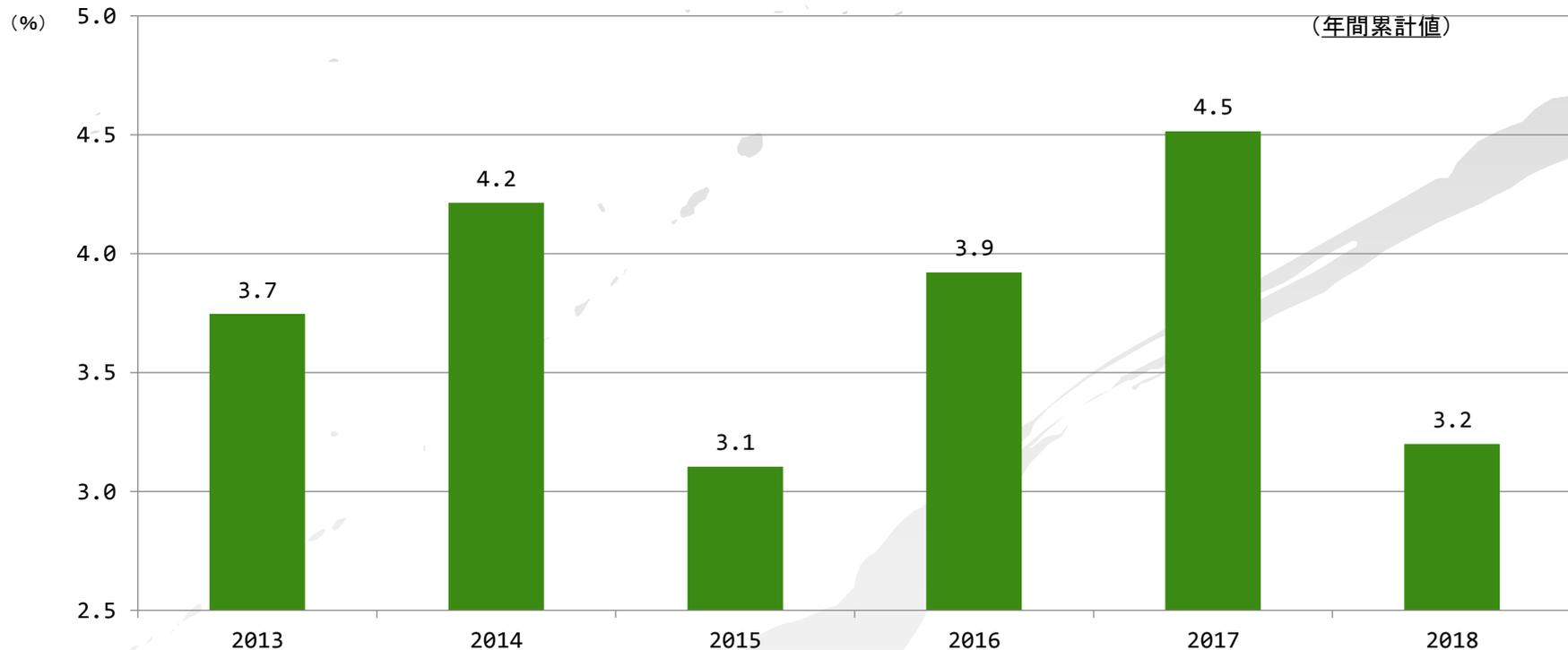
出所: パラグアイ中央銀行発表データを基に作成



5. マクロ経済の安定性(インフレ率)



●4. 5%以下で安定



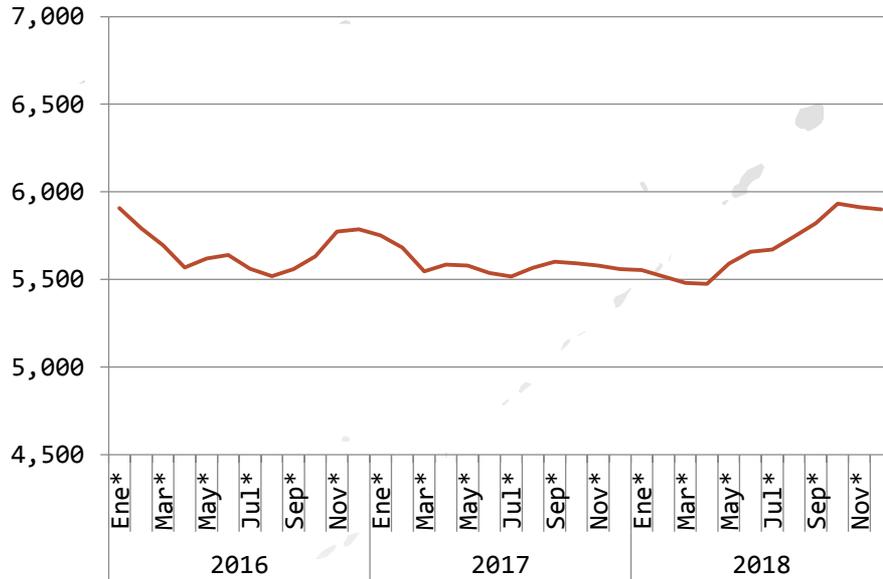
出所: パラグアイ中央銀行発表データを基に作成



5. マクロ経済の安定性(為替相場)

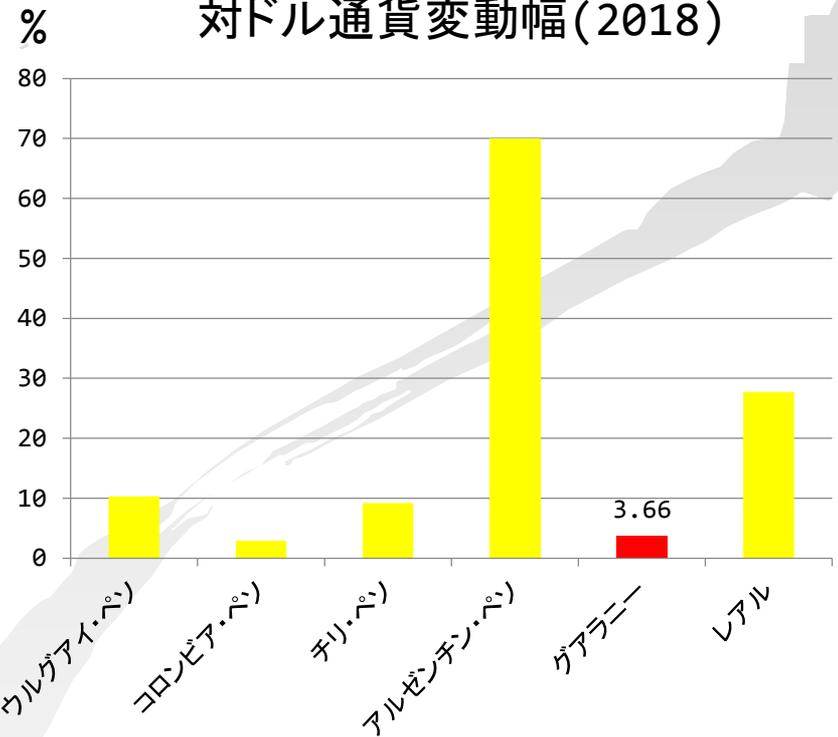


対ドル為替相場



出所: パラグアイ中央銀行発表データを基に作成

対ドル通貨変動幅(2018)



出所: 当地報道(5dias紙)から作成



5. マクロ経済の安定性(主要貿易相手国)



●主要貿易相手国(2017年)

輸出 単位:千ドル

順位	国名	輸出額	割合(%)
1	ブラジル	2,775,246	32.0%
2	アルゼンチン	1,162,971	13.4%
3	チリ	621,872	7.2%
4	ロシア	588,119	6.8%
5	トルコ	286,844	3.3%
6	ウルグアイ	272,546	3.1%
7	インド	253,573	2.9%
8	イタリア	239,620	2.8%
9	スペイン	211,326	2.4%
10	ドイツ	184,749	2.1%
30	日本	41,178	0.5%
	その他	2,041,943	23.5%
	TOTAL	8,679,987	100.0%

輸入 単位:千ドル

順位	国名	輸出額	割合(%)
1	中国	3,450,542	31.3%
2	ブラジル	2,571,277	23.3%
3	アルゼンチン	1,144,199	10.4%
4	米国	906,392	8.2%
5	オランダ	388,674	3.5%
6	日本	267,903	2.4%
7	中国	242,893	2.2%
8	韓国	189,321	1.7%
9	メキシコ	161,756	1.5%
10	インド	148,283	1.3%
	その他	1,556,140	14.1%
	TOTAL	11,027,379	100.0%

出典: 中央銀行統計(暫定値)



5. マクロ経済の安定性(2019年予算)



歳出

内 訳	金額	比率
(1) 政府運営費	840.8	6%
(2) 治安・防衛	855.4	6%
(3) 社会福祉	6,249	46%
(内訳) 保健	1,655.0	12%
社会保障	1,731.7	13%
教育・文化	1,590.3	12%
その他	1272.0	9%
(4) 経済	4,217.9	35%
(内訳) 公共事業, エネルギー, 燃料, 鉱物, その他	2,389 1,829	16% 18%
(5) 公債費	828.3	6%
(6) 管理・統制	70.8	1%
合計	13,573	100%

歳入

内 訳	金額	比率	
中央政府	税金	4,282	32%
	(内訳) 収益に対する課税(法人税等)	975	7%
	財・サービスに対する課税(付加価値税等)	2,793	21%
	貿易及び国際取引に対する課税(関税等)	457	3%
	その他の税	71	0.5%
	社会保障料の徴収	497	4%
	ロイヤリティ(イタイプ・ヤシレタダム等)	578	4%
	ファイナンスによる財源	1,107	8%
	その他	1,188	9%
	小 計	7,654	56%
中央政府以外	税金・公共サービスの料金等	4,436	33%
	地方債の発行等	1,205	9%
	資本の売却等	276	2%
小 計	5,918	44%	
合計	13,573.32	100%	

出典: 2019年パラグアイ国家予算資料を基に作成

単位: 百万ドル



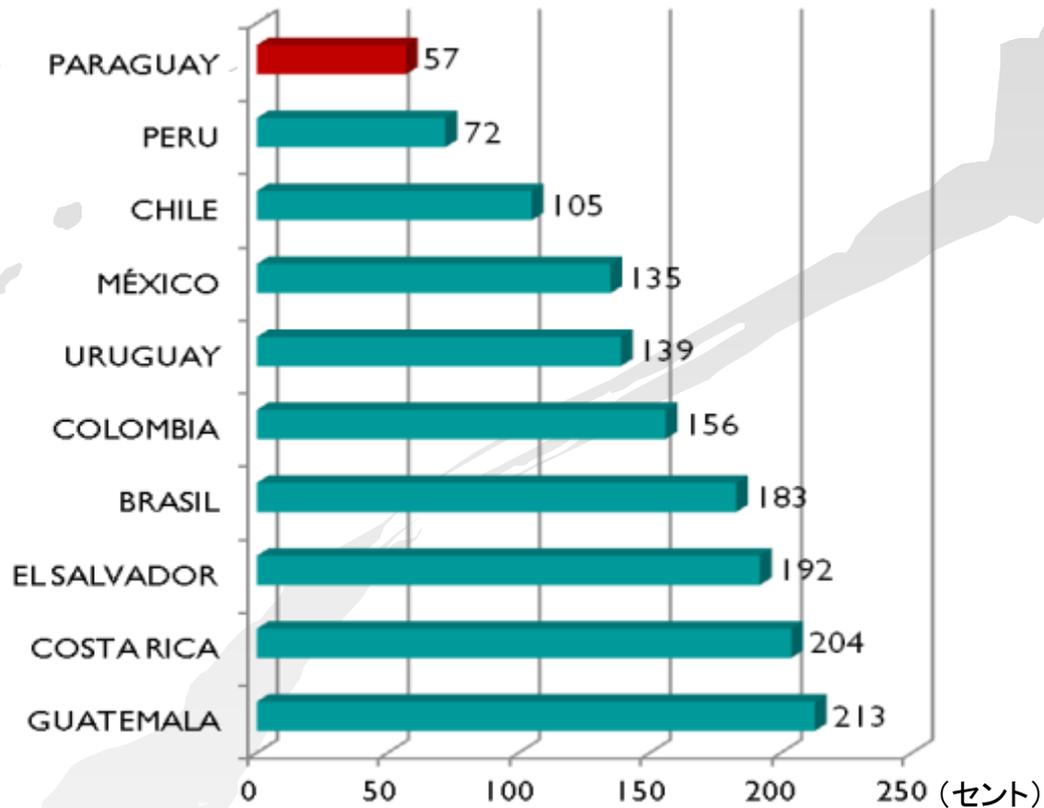
6. 安価で豊富な電力(電力コスト)



●産業用電力(50MWh/月)の単価(米ドル)

●パラグアイは**1,390MWの使用可能電力**を有する。

●家庭用電力及び産業用電力ともに**南米で最も安価**である。



出典: 商工省のHP資料を基に作成

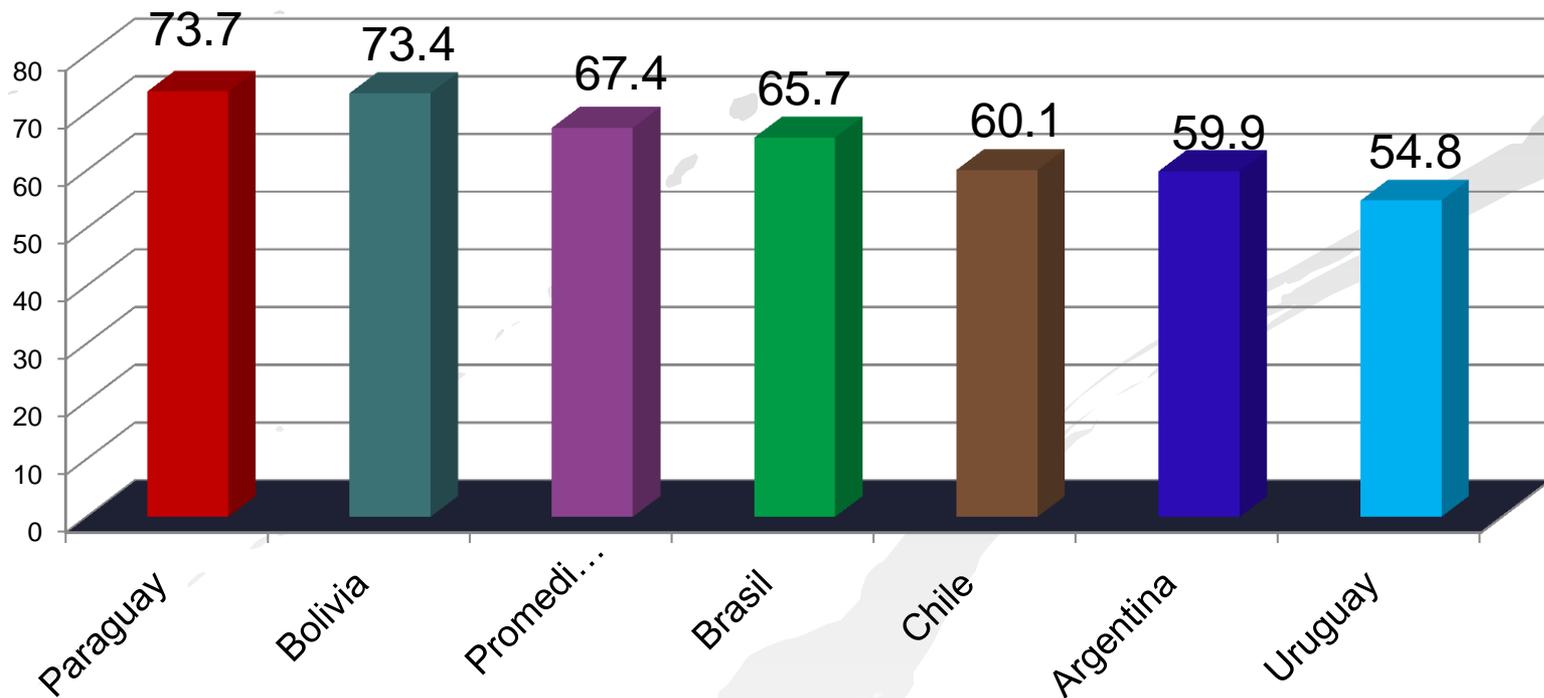


7. 豊富な若年層人口



● 34歳未満の若年層人口(%)

● パラグアイはラ米で最も多い若年層人口を有している。



出典: 商工省のHP資料を基に作成



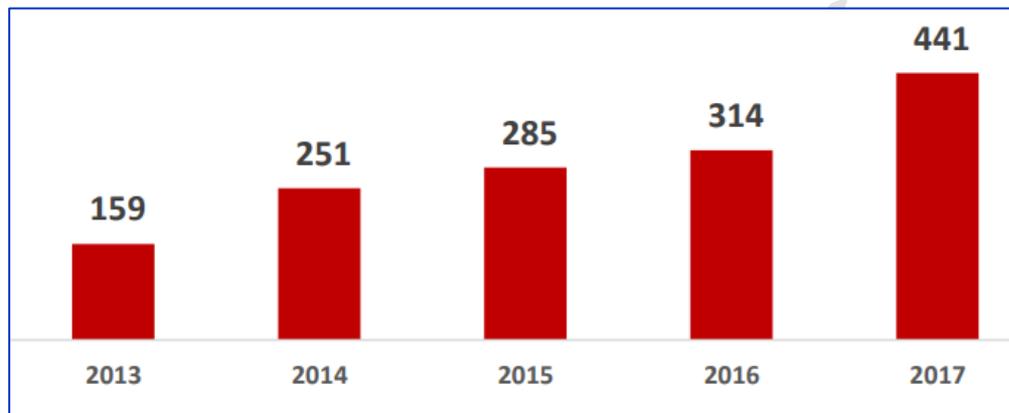
8. インセンティブ(マキラ制度)



マキラ制度

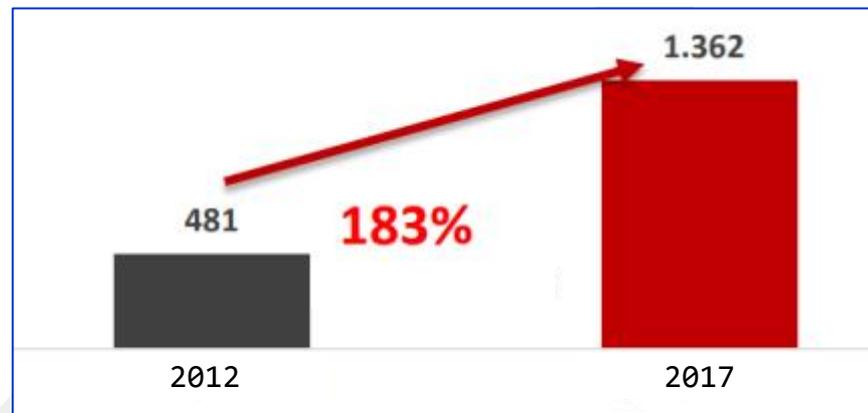
●マキラ制度を利用した輸出量が近年急増

直近5年の輸出額



(百万米ドル)

累積輸出額



(百万米ドル)

出典: 商工省輸出貿易促進局